

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 27 号

第 27 週(6月30日～7月6日)

発行年月日:平成20年(2008年)7月10日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

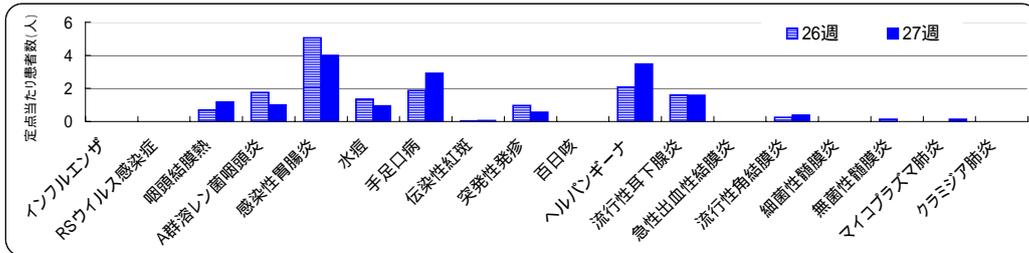
**県内における麻疹患者の発生は15～24歳で増加
手足口病およびヘルパンギーナの発生は急増**

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は前週の報告数よりやや多くなっています。今週増加した疾患は咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナ等で、減少した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

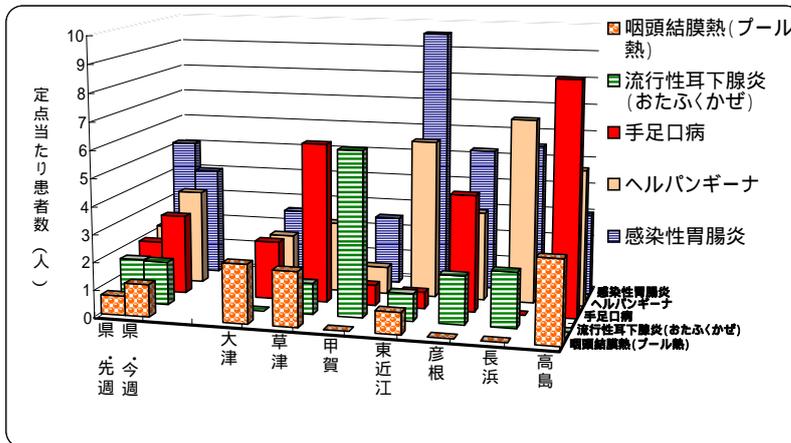
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報発生状況は今週の発生状況に示すとおりですが、咽頭結膜熱(プール熱)、A群溶レン菌咽頭炎、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎で警報発生基準値を超えている保健所があります。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で4名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で1名、五類感染症のアメーバ赤痢で2名、麻疹で1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第27週、定点当たり患者数)

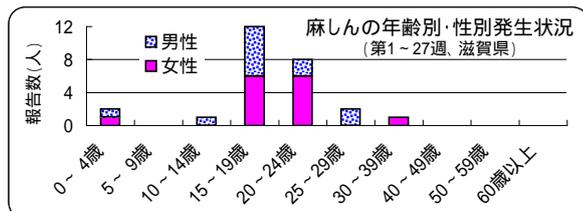
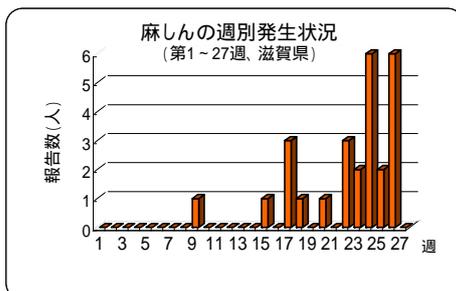


県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、手足口病、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、咽頭結膜熱(プール熱)の順に多くなっています。

草津では、咽頭結膜熱、手足口病およびヘルパンギーナが急増しています。

麻疹の発生状況

(平成20年第1～27週、H19.12.31～H20.7.6)



保健所管内別では、大津9名、東近江7名、草津4名、彦根3名、長浜2名、甲賀1名です。ワクチン接種歴は1回目のみ接種4名、1回目および2回目とも接種なし13名、不明9名です。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいますが、届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (27週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (27週)	全国 (27週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	4	138	12,943	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	136	^{(*)2} 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	1	10	1,136	55	4,586
四類感染症	パラチフス	0	0	16	1	22
	E型肝炎	0	0	27	1	54
	A型肝炎	0	2	91	1	154
	デング熱	0	1	29	1	89
	マラリア	0	1	20	1	52
五類感染症	レジオネラ症	0	3	406	8	655
	アメーバ赤痢	2	5	433	15	781
	ウイルス性肝炎	0	3	110	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	77	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	66	1	96
	後天性免疫不全症候群	0	7	732	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	40	1	56
	梅毒	0	1	409	2	714
	破傷風	0	2	51	0	88
	急性脳炎	0	0	102	2	216
	風しん ^{(*)3}	0	1	234	-	-
	麻しん ^{(*)3}	1	26	10,037	-	-

* 1: 平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含み増す。

* 3: 平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第27週(6/30~7/6) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核 351例	三類感染症: 細菌性赤痢 7例	腸チフス 1例	腸管出血性大腸菌感染症 141例	四類感染症: A型肝炎 1例	オウム病 1例	つつが虫病 1例	四類感染症: デング熱 1例	日本紅斑熱 1例	マラリア 1例	野兔病 2例	レジオネラ症 15例	五類感染症: アメーバ赤痢 8例	梅毒 9例	ジアルジア症 1例	破傷風 2例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 8例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例	ウイルス性肝炎 2例	風しん 3例	麻しん 132例
-------------	----------------	-----------------	---------	------------------	----------------	---------	----------	----------------	----------	---------	--------	------------	------------------	-------	-----------	--------	----------------------	------------------	-------------------	--------------------	------------	--------	----------

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第22~27週、5/26~7/6)

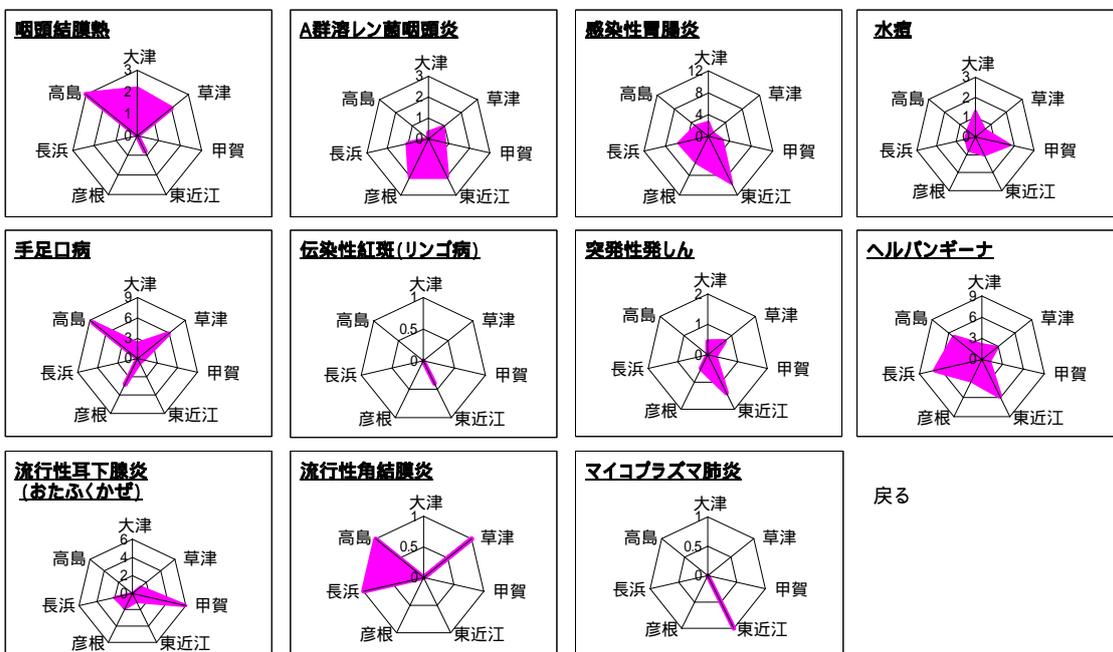
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	22週		23週		24週		25週		26週		27週	
	(5/26~)	(6/2~)	(6/9~)	(6/16~)	(6/23~)	(6/30~)	23	24	25	26	27	
インフルエンザ	0.07	0	0	0.02	0	0						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.88	0.94	1.03	1.09	0.70	1.18						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.88	2.36	2.15	1.76	1.76	1.00						
感染性胃腸炎	7.61	8.12	6.36	5.76	5.06	4.00						
水痘	2.82	1.64	1.94	2.15	1.36	0.94						
手足口病	0.58	0.67	1.06	1.15	1.88	2.91						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0.03	0.09	0.03	0.06						
突発性発しん	0.55	0.33	0.36	0.67	0.97	0.55						
百日咳	0.06	0.06	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	0.27	0.30	0.97	1.58	2.09	3.48						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.97	1.03	0.94	1.15	1.61	1.58						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.25	0.25	0.50	0.13	0.25	0.38						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0.14	0	0	0.14	0						
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0.14						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第27週、6/30～7/6)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)		
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0			
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0			
咽頭結膜熱(プール熱)	1.18	2.14	2.00	0	0.80	0	0	3.00	■		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.29	0.86	0.75	2.00	2.00	1.00	0	■		
感染性胃腸炎	4.00	2.57	1.00	2.50	9.60	5.25	5.50	3.00	■		
水痘	0.94	1.29	0.57	1.75	1.00	0.75	0.50	0.50	■		
手足口病	2.91	2.14	5.86	0.75	0.60	4.25	0	8.50	■		
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0	0.40	0	0	0	■		
突発性発しん	0.55	0.43	0.71	0.25	1.40	0.50	0	0	■		
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0			
ヘルパンギーナ	3.48	2.00	2.57	1.00	5.80	3.25	6.75	5.00	■		
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.58	0	1.14	6.00	1.00	1.75	2.00	0	■		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性角結膜炎	0.38	0	1.00	0	0	0	1.00	1.00	■		
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	■		
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

手足口病-----先週多かった高島ではやや減少していますが、今週も多い状態が続いています。また、草津では急増し警報開始基準値(5.0)を超えています。
 ヘルパンギーナ-----全ての保健所管内で先週より増加し、特に草津、東近江、高島で急増しています。

滋賀県における保健所管内別警報発生状況(平成20年第27週)

疾患名	県	保健所管内別							警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値
		大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
咽頭結膜熱(プール熱)	1.18	2.14	2.00	0	0.80	0	0	3.00	2.00	0.10	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.29	0.86	0.75	2.00	2.00	1.00	0	4.00	2.00	
手足口病	2.91	2.14	5.86	0.75	0.60	4.25	0	8.50	5.00	2.00	
ヘルパンギーナ	3.48	2.00	2.57	1.00	5.80	3.25	6.75	5.00	6.00	2.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.58	0	1.14	6.00	1.00	1.75	2.00	0	6.00	2.00	

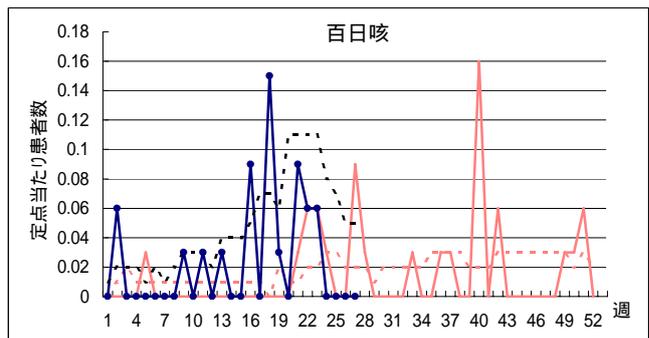
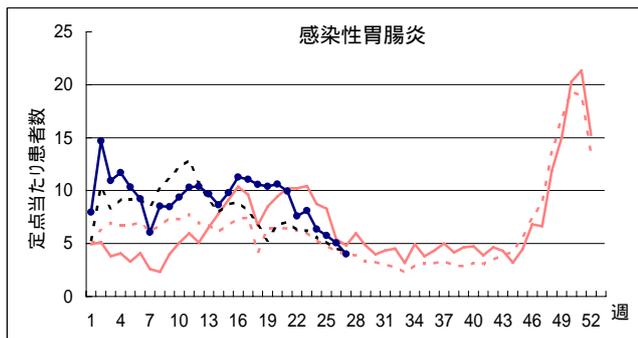
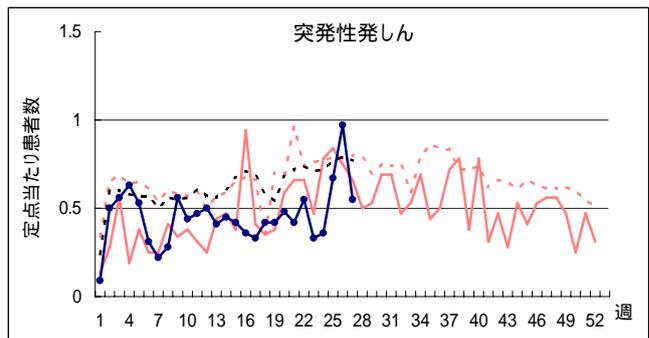
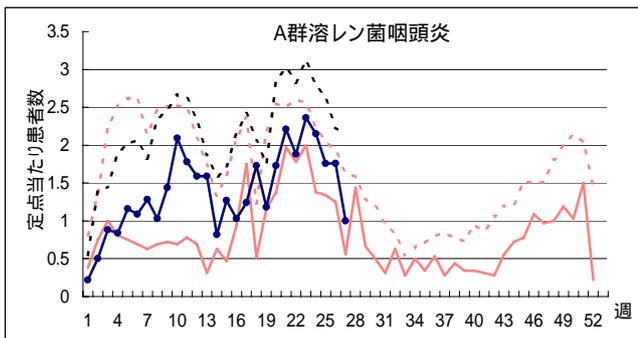
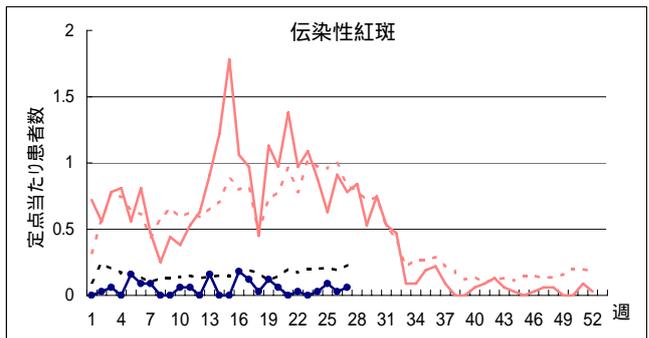
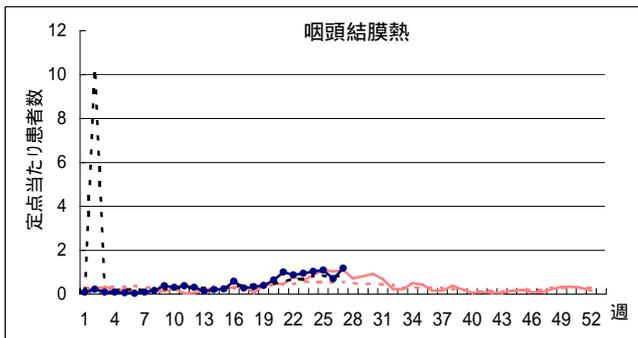
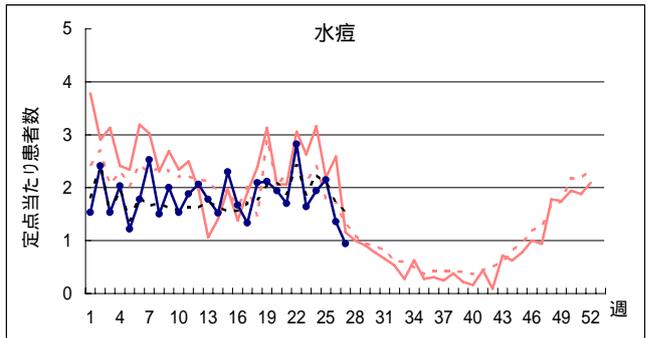
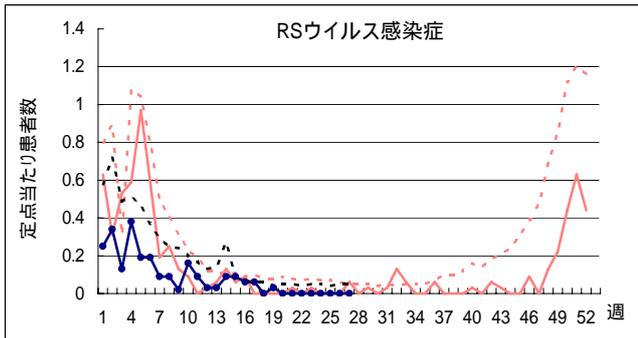
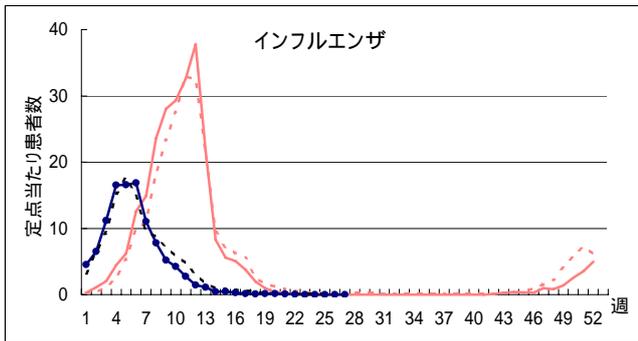
* 基準値はすべて定点当たり患者数(人)です。また、注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。

■: 警報開始基準値または警報終息基準値を超えています。

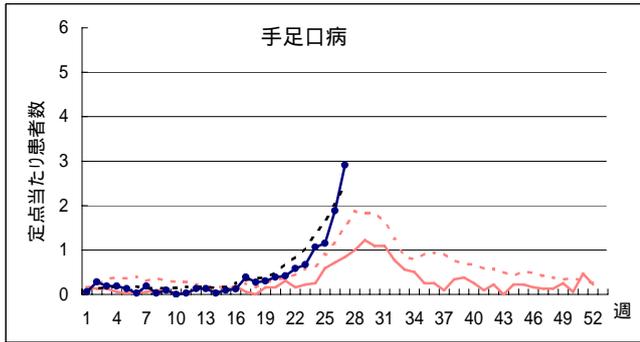
先週警報発生基準値(開始基準値、終息基準値)を超えていた保健所管内では、今週も引き続き基準値を超えています。また、草津保健所管内では今週新たに、咽頭結膜熱および手足口病において警報開始基準値を超えています。

流行発生警報(警報): 流行発生警報(警報)という表現により大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

疾病別定点当たり患者数(平成20年第27週、H19.12.31~H20.7.6)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第27週、H19.12.31～H20.7.6)



H19 { 滋賀 ————
 全国
 H20 { 滋賀 ●—●—
 全国
 週

